



のりやあせ

長久手市の公共交通に関する情報誌

長久手市の公共交通情報誌「のりやあせ」では公共交通をみんなで育むため、市民の方の目線で様々な情報をお届けしていきます。この情報誌は、公募した市民協力者が取材し執筆しています。今回は、2人の市民協力者の方が、「リニモウォーキング」、「リニモ車両基地見学会」に参加した模様を紹介しています。

運転指令室へ

建物の二階は運転指令室。ご存知のように、リニモは完全自動無人運転。万博では運転席にもリゾーが座っていましたね。この運転指令室で、リニモの走行・停止をコントロールしています。また、藤が丘、愛・地球博記念公園、八草の三つの駅以外は職員のない無人駅です。何かあった時は、インターホンで運転指令室につながります。緊急の場合には、約10分で職員がリニモで最寄駅から駆け付けてくれるシステムになっています。



最後に

リニモの利用者は、平成24年度で年間約700万人、一日平均2万人弱。毎年少しずつですが、増えてきています。環境に優しく乗り心地もよいリニモがずっと存続するよう願ってやみません。リニモ愛用者の人たちからの願いをひとつ。「子ども用のリニモカードがあるとうれしい」。是非、一考をお願いします。見学会に参加して、ますますリニモが好きになりました。関係者の皆様、楽しい企画ありがとうございました。

バスの走行位置や遅れ時間などがすぐわかる！

バスロケーションシステムの導入

バス停に貼ってあるスタッカーのQRコードを携帯電話、スマートフォンで読みとるだけ！



バス停で待っているとき、「バスはいつ来るの？」「バスは今どこを走っているの？」と思ったことはないでしょうか？そんな不安を解消するのが、3月1日からN-バス、名鉄バスで導入された「バスロケーションシステム」です。これは、バスの現在位置や遅れ時間などの運行状況を、携帯電話やパソコンで確認できるシステムです。このシステムにより、いつでもどこでもバスの運行状況を確認でき、バス停でも安心してバスを待つことができるようになります。

地域公共交通会議の市民委員の松井さんにバスロケーションシステムを実際に試してもらいました。

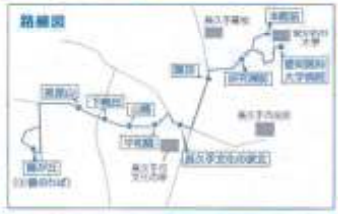


<感想> バスの運行がよくわかり便利です。特に、乗車時刻ギリギリに停留所に着き、バスが出なかったのか、遅れているか、わからないことがよくあります。このシステムを使えば、それが明示されますので、助かります。

愛知医科大学病院と藤が丘が路線バスでつながる！

名鉄バス 愛知医科大学病院線新設

4月1日から、愛知医科大学病院と藤が丘をつなぐ路線が新設されました。これにより、愛知医科大学病院への利便性はもちろんですが、長久手高校生をはじめ周辺に住むみなさんの利便性も向上します。ダイヤ等の詳細は、名鉄バスのホームページ (<http://www.meitetsu-bus.co.jp>) で確認するか、名鉄バス株名古屋営業所 (62-7677) へ問い合わせてください。



市民協力者の募集

利用者や市民の方の目線で、公共交通に関する情報を提供していくため、市民のみなさんから、このかわら版「のりやあせ」の作成にご協力いただける方を募集します。応募先等の詳細は、車庫係・長久手市行政経営部経営管理課の窓口で確認していただくか、電話 (56-0600) で問い合わせください。

リニモと名鉄バスの運賃改定 N-バスは変わりません。

リニモと名鉄バスは、4月1日の消費税引き上げに伴い、運賃が改定されました。運賃等の詳細は、リニモはホームページ (<http://www.linimo.jp/>) で確認するか、愛知高速交通㈱ (61-4781) へ問い合わせてください。また、名鉄バスはホームページ (<http://www.meitetsu-bus.co.jp>) で確認するか、名鉄バス株名古屋営業所 (62-7677) へ問い合わせてください。

【取材1】リニモウォーキングに参加して

市民協力者 63歳 男性

平成26年2月16日、日曜日、天気晴朗なれど風強し。そんな日、あのリニモを活用して行われるリニモウォーキングに行ってみた。前々から、我が家の前を次々に歩いていく人たちを見て、「何やっとなの？」…なので、一度参加してみたいと思っていた。今回は、リニモウォーキングの参加顛末記をご紹介します。

受付 (はなみすき通駅)

出発地点の「はなみすき通駅」の駅前広場の受付には、ウォーキングスタッフが3、4人いたが、次々に来る参加者の対応に追われていた。忙しい中で、質問に答えてもらった。年間に早春、新緑、秋色の3シーズンで計1.3回実施、1回にだいたい1、400人くらい、多いときには、2、000人ほどの参加者があるとのこと。



ウォーキングスタート



さて、いよいよ歩き始める。初めは「せせらぎの径」。両側に小さな人工の小川が流れていて、景色も良くて、ゆったりのんびり歩くことができた。周辺に住んでいる人たちは、日頃ここを歩くことが出来たらうらやましいと思った。参加者の皆さんは、お父さん、お母さんと子どもたちの家族連れ、年配夫婦、お友達グループなどいろいろあった。むしろ、自分のような単独での参加者も多かった。みなそれぞれに目的があると思うが、のんびりと周りの景色を愛で、ゆっくりと語りながら、マイペースで進んで行くと、さらに、健康にも効果が期待できるのいいのだと思う。

中には、今、流行のマラソンウェアに身を包み、魂爽と駆けていく若いカップルもいた。信号待ちしていた二人の明るい話し声や笑顔が、服装と相まって華やいだ空気を作っていた。そうそう、6歳の男の子がお母さんと一緒に歩いていた。全長8キロのコースは、相当にきついのではないかなと思った。ペースが遅うこともあって、二人の終着は見届けられなかったが、楽しそうな様子は、最後まで頑張るエネルギーになっていたと、確信している。



続きは2頁へ

◆◆ 問合せ ◆◆
〒480-1196 長久手市岩作城の内60番地1
長久手市地域公共交通会議 事務局 長久手市行政経営部経営管理課
TEL 56-0600(直通) FAX 63-2100 <http://www.city.nagakute.lg.jp/>

チェックポイント（農業総合試験場）

チェックポイントの農業総合試験場でスタンプをもらった。
午前11時24分、出発したのが10時10分だったので、1時間と少し。
まあまあペースかな。ゴールのモリコロパークでのスタンプが揃うと、
特製ピンバッジがもらえる。あと半分頑張ろう！



さらに歩く

試験場のチェックポイントを過ぎると、近くを小学生の二人がゲーム機片手に話しながら歩いていた。
声を掛けた。4年生の同級生とのこと、お母さんたちも少し離れて歩いていた。少し話しながら歩いた。
栄徳高校前の右折ポイントは、ルートを間違いないところなので、スタッフの方が、親切に誘導して
くれた。そこからは、リニモや高速道路の高架下を歩く。それまでのしばらくは、自然が景色のほとんど
全てだったのが、建造物も視界に入るようになってきた。周りの変化によって自分自身も新鮮な気持ちに
なれて、疲れもぐっと少なくなったように感じた。高架下の歩道の植木に目をやると、小さなつぼみが
ふくらみかけていた。春はもうすぐそこまで来ているんだなあ。

もう少し

公園西駅を通過した。少し前から、モリコロパーク名物の大観覧車が、
丘の木々の上から顔を出していたが、近くで見ると、また迫力のあること
あること。まさにモリコロパークのランドマークである。
公園の下まで来たところで、北西入場門より入場した。上り坂の手前
なので、「助かった！」と思ったが、結局、観覧車の下までの登りを歩く
ことになった。その最後のきつい坂を、幼子をだっこして上っていくお母
さんを見つけた。「母は強し」を実感した。



ゴール（モリコロパーク）

公園内に入ってから、ゴールまでが随分長く感じた。汗も出てきて、
朝きつかったあの風が、気持ちよく感じた。スタンプを押してもらって、
ピンバッジを受け取って、ウォーキングの終了！
スタッフの方の、ねぎらいの一言も嬉しかった。



この後、公園内でB級グルメの昼食を取り、これが結構美味し
かった。また、開催中の『リニモ沿線合同大学祭』を見て歩いた。
ご近所のお知り合いが舞台のパフォーマンスに出演していて、
互いにびっくり！

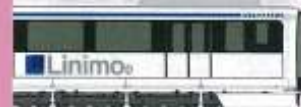
帰路はリニモに乗車



リニモで公園から藤が丘まで帰った。誰もいない運転席にも少し慣れて、
見通しのいい風景を堪能した。いつもとは違う目線で見る景色は、何か知ら
ない街のように思た。用を済ませ、家に到着後、『ござらっせ』に行った。
温泉、サウナで筋肉をほぐし、疲れを癒す。そして、今日の締めめに、食堂
で冷たいビールを一杯グイ〜っと。うま〜かった！幸せ！！
ともあれ、手応えのある1日、いや半日かな？だった。何より何より。

【取材2】リニモ車両基地見学会に行ってきました

市民協力者
63歳 女性



リニモ…日本でここだけの常電導磁気浮上式リニア・モーターカー。
愛・地球博（以下、万博）でよく利用していた時から、あのリニモの
顔が好きでした。カットされたガラスのような、シャープで透明な正面
を、かっこいいなあと思っていたものです。その時にはあまりの混雑に
じっくり味わえなかったリニモの特徴、今回はいろいろ体験することが
できました。

リニモ藤が丘駅集合

リニモ沿線合同大学祭の学生ボランティアの人が、受付を担当。
続々と親子連れが集って来ます。実はこの見学会、毎回定員の
4〜5倍の申し込みがある人気の企画なのです。
この日の参加者は、大人48名・子ども53名・計101名。
小学3年生で磁石の勉強をするそうで、そのためか、3年生
あたりのお子さん、特に男の子の参加が目立ちます。



リニモの貸切列車で出発

車中で聞いたリニモの豆知識の一端をご紹介します。
リニアモーターカーは日本以外では、中国の上海にあります。
万博の時には、「動くパビリオン」と呼ばれていました。車体が浮く
のは8mmということは、かなり知られていますが、浮上・着地す
るのは藤が丘駅と八草駅だけ、その他の駅では浮いたままというの
は知っていましたか？愛・地球博記念公園駅では、実際に浮上・着
地の瞬間を体感させてくれました。車両の窓わくと駅の目標物を決
めて見ていると、浮き上がる瞬間がわかります。車内は軽いどよめ
ぎと「本当だ！」「浮いた！」の声でにぎやかなこと。



リニモ車両基地に到着

縮小サイズのリニモで浮上する仕組みを
説明してもらいました。（写真下）
浮いた車両は、大人一人が手で動かせる
とのこと。



次に、点検中の本物の車両を見ながらの解説。（写真上）
普段は決して見ることでできない車両の下半分が見られ
るようになっていて、その複雑な構造や考慮された安全性
に、日本の技術ってすごい！と、感心しました。

続きは4頁へ